

市民アンケート集計結果

1. 調査概要

■調査項目

- ①地球温暖化防止に関する意識
- ②地球温暖化防止の取り組み状況
- ③交通手段に関する取り組み状況
- ④住居に関する取り組み状況
- ⑤情報伝達媒体の使用状況
- ⑥回答者の属性に関する項目

■調査期間

平成 24 年 2 月 10 日～平成 24 年 2 月 24 日

■回収状況

配布数	2,000 件
回収数	1,101 件
回収率	55%
有効回答数	1,101 件
有効回答率	100%

■ 調査結果概要

調査項目	結果概要	温暖化対策への方向性
地球温暖化防止に関する意識	・ 約 9 割の市民が地球温暖化の影響が拡大していると感じており、地球温暖化対策についても約 9 割が必要と考えている。 ・ 東日本大震災以降、CO₂ というよりも、電力使用量やその他のエネルギー使用量など、「エネルギー」がより強く意識されるようになった。	・ 省エネルギーや再生可能エネルギー、エネルギー教育等、「エネルギー」に着目した施策が重要。
地球温暖化防止の取り組み状況	・ カーテンやよしずによる日射遮蔽、冷暖房の使用時間を減らす、家族ができるだけ同じ部屋で生活する等、身近で取り組むことが可能なものについては、多くの割合で取り組まれている。 ・ テレビを見る時間を減らす、冷蔵庫の開閉を減らす、電化製品の待機電力を減らす等、電化製品の使い方に関する取り組みについては、効果が低いと捉えられている割合が大きい。 ・ 省エネナビについては、無料であれば貸出を希望する意見が多かった。また、貸出を希望しない場合でも、理由として「省エネナビについてよく知らないから」が 4 分の 1 を占め、効果等について周知をすればより貸出希望者が増えると予想される。 ・ 再生可能エネルギーの導入については、期待される効果としてコスト削減効果が最も大きかった。また、導入しない理由としても、コストが高いことが挙げられた。 ・ 共同で費用を出し合う再生可能エネルギー導入の取り組みについては、寄付型を希望する市民と出資型を希望する市民を合わせると約 3 割であった。 ・ 地球温暖化防止に向けたエネルギー問題に対し市民としてすべきこととして、「省エネ・省 CO₂ に関する機器・製品等の導入により、不便は発生しない範囲で、エネルギー使用量の少ない暮らしに切り替えるべき」が最も多かった。	・ 電化製品に関する取り組みについては、特に効果に焦点を当てた啓発が必要。 ・ 施策として、省エネナビの無料貸出や、共同で費用を出し合う再生可能エネルギーの導入が期待される。 ・ 省エネナビについては導入効果に焦点を当てた説明が重要。 ・ 再生可能エネルギーの導入促進においては、経済性に焦点を当てた説明が重要。 ・ 我慢を強いるのではなく、賢くエネルギー使用量を削減する施策が期待される。
交通手段に関する取り組み状況	・ マイカーは市内の移動で主に利用されており、公共交通機関は市外への移動および市内中心地への移動で主に利用されていた。 ・ カーシェアリングについては、安価であれば利用したいという意見が約 2 割であった。 ・ レンタサイクルについては、乗り捨てができるなら利用したいという意見が約 3 割であった。また自転車の保有率は 7 割であった。	・ カーシェアリング・レンタサイクルについての検討が必要。
住居に関する取り組み状況	・ 断熱材の使用有無について、わからないという回答が多く、建物の断熱による効果についてあまり意識されていなかった。 ・ 照明器具について、電球型蛍光灯の導入が 3 割、LED 照明の導入が約 3 割、白熱球の使用が約 3 割であった。	・ 断熱材や照明器具に関する取り組み効果について、啓発が必要。

調査項目	結果概要	温暖化対策への方向性
情報伝達媒体の使用状況	若い世代ほど、ブログ・SNS・携帯電話のアプリケーション等双方向型の情報伝達媒体を利用している割合が大きく、若い世代への情報発信はこれらの媒体を利用することが効果的と考えられる。	若い世代を巻き込むため、ブログ・SNS・携帯電話のアプリケーションを利用した施策が期待される。

2. 調査結果

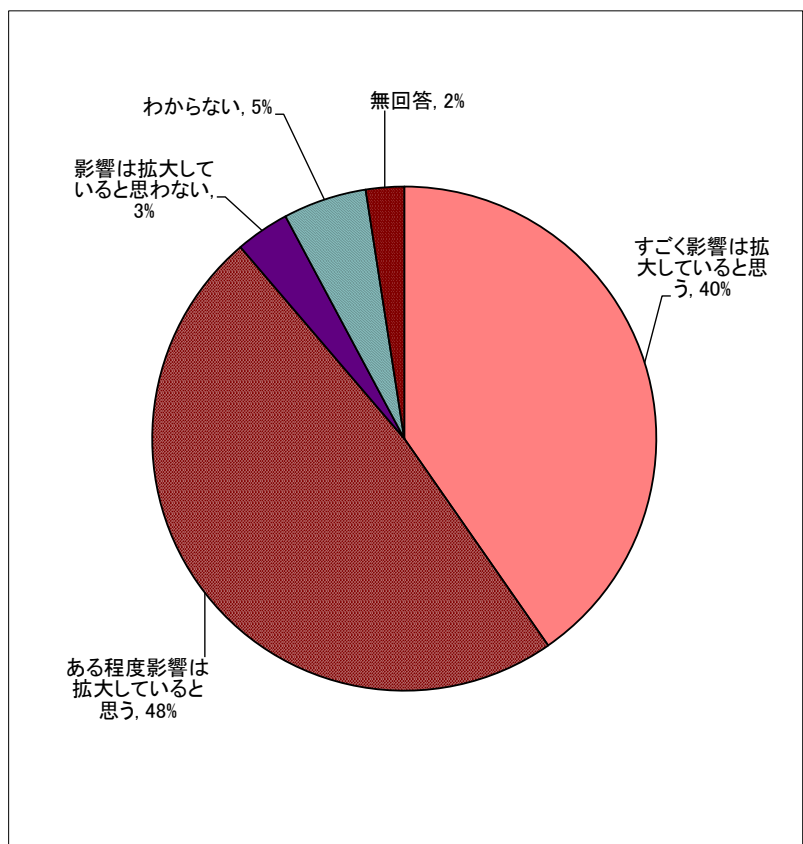
A. 地球温暖化防止に関する意識について

問①. 地球温暖化による影響は拡大していると思いますか？あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「すごく影響は拡大していると思う」が40%、「ある程度影響は拡大していると思う」が48%であった。

図 1 地球温暖化の影響拡大に対する意識

選択項目	件数	構成比
すごく影響は拡大していると思う	444	40%
ある程度影響は拡大していると思う	533	48%
影響は拡大していると思わない	38	3%
わからない	59	5%
無回答	27	2%
計	1,101	100%

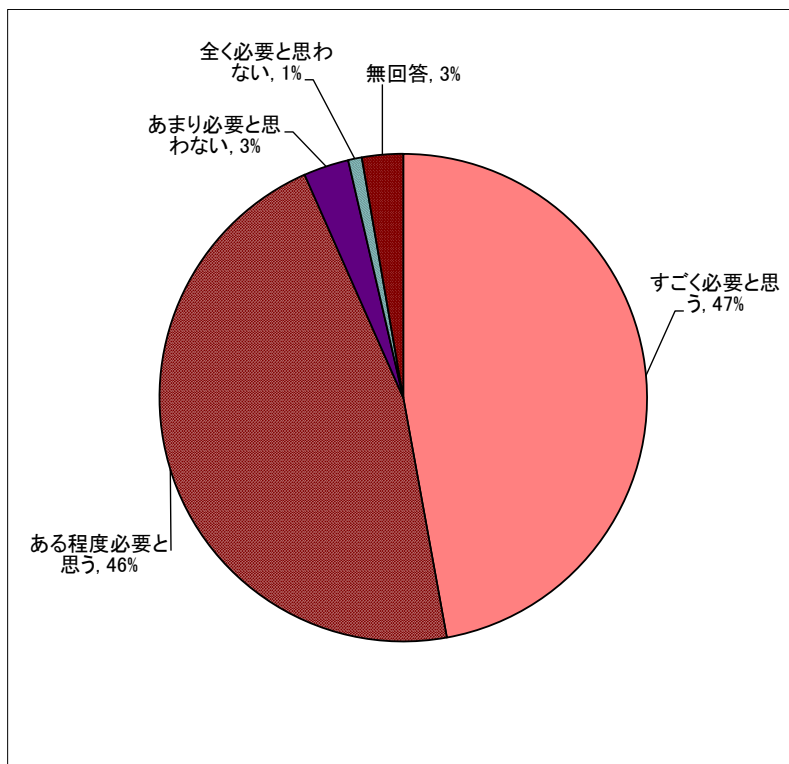


問②. 地球温暖化対策は必要と思いますか？あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「すごく必要と思う」が47%、「ある程度必要と思う」が46%であった。

図 2 地球温暖化対策の必要性に対する意識

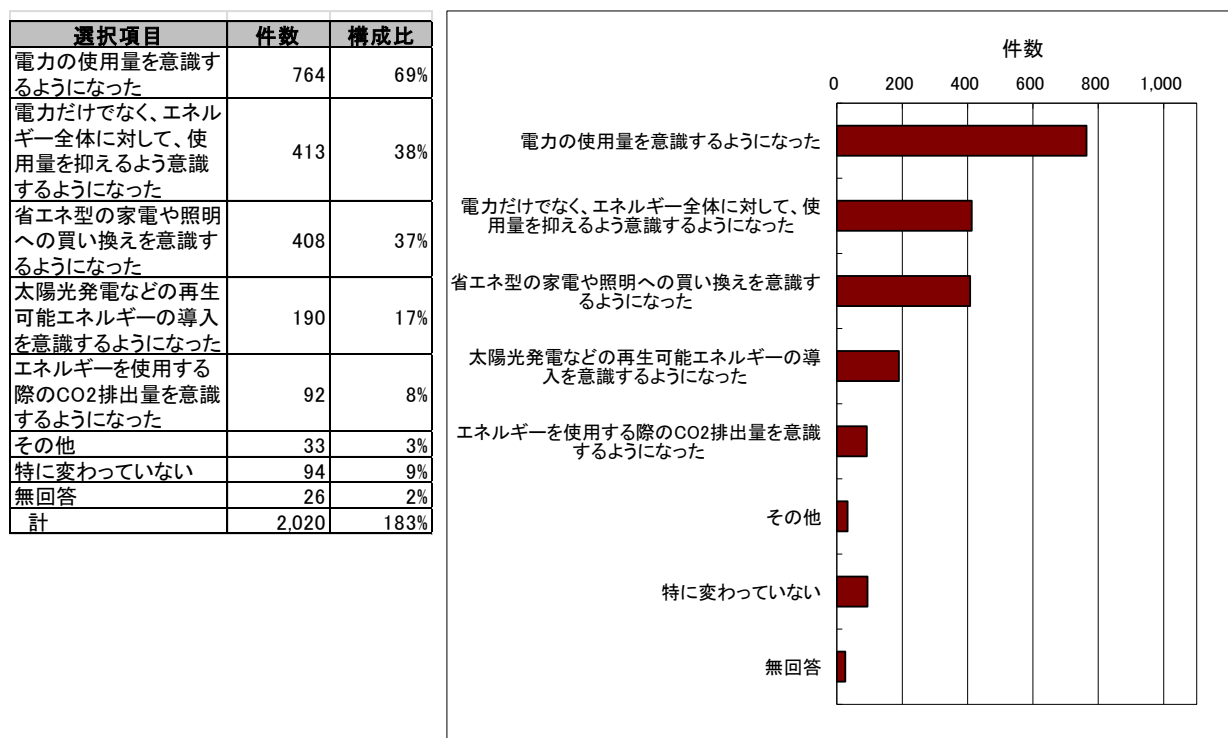
選択項目	件数	構成比
すごく必要と思う	519	47%
ある程度必要と思う	509	46%
あまり必要と思わない	33	3%
全く必要と思わない	10	1%
無回答	30	3%
計	1,101	100%



問③. 東日本大震災以降、エネルギー利用に関する意識の変化についておたずねします。あてはまるものに○印をつけてください。(複数回答可)

「電力の使用量を意識するようになった」が 69%、「電力だけでなく、エネルギー全体に対して、使用量全体を抑えるよう意識するようになった」が 38%、「省エネ型の家電や照明への買い換えを意識するようになった」が 37%であった。

図 3 東日本大震災以降のエネルギー利用に関する意識の変化



【その他の記述】

- ・ 震災前から省エネに配慮している。[8]
- ・ 原発問題を日本全体で考えていくべきです。必要であるかどうか。[4]
- ・ 少しの時間でも無駄な電力は使用しないよう気を付けるようになった。[2]
- ・ ガスエネルギーの利用と併用するようになった。
- ・ ガソリンの使用量を意識したり運転時に急発進したりしないように心掛けるようになった。
- ・ 買い換えとか抑えるとか導入とかでなく、物事がエネルギーとどう関連するか考えるようになった。
例えば、水道水と電力とか。
- ・ 原発以外の使用を考える場合、どの資源が必要になるかが大きい課題になると思うようになった。

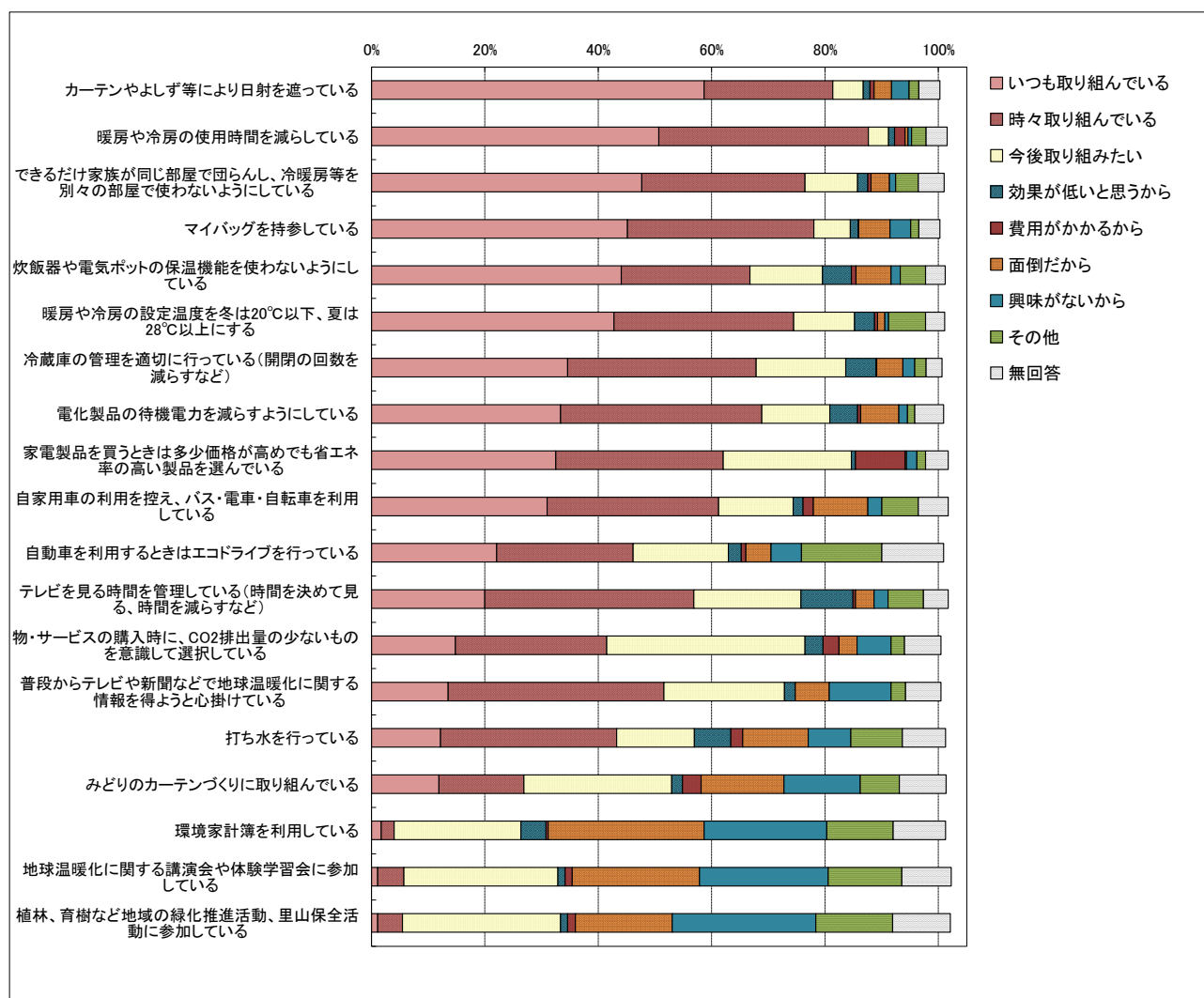
B. 地球温暖化防止の取り組み状況

問①. 地球温暖化防止の取り組みに関して、日常生活でどのようなことを行っていますか。各設問のあてはまる数字に○印をつけてください。（複数回答可）

いつも取り組まれているものでは、「カーテンやよしず等により日射を遮っている」が59%、「暖房や冷房の使用時間を減らしている」が51%であった。環境家計簿、地球温暖化に関する講習会や体験学習会、植林・育樹など地域の緑化推進活動・里山保全活動については、「面倒だから」「興味がないから」といった理由で取り組まれていない割合が大きかった。

「テレビを見る時間を管理している（時間を決めて見る、時間を減らすなど）」「打ち水を行っている」「冷蔵庫の管理を適切に行っている（開閉の回数を減らすなど）」「電化製品の待機電力を減らすようにしている」「炊飯器や電気ポットの保温機能を使わないようにしている」については、効果が低いと思うので取り組んでいないという回答の割合が、比較的大きかった。

図 4 地球温暖化防止の取り組み状況



	いつも取 り組んで いる	時々取 り組んで いる	取り組んでいない						
			今後取 組みたい	効果が低 いと思う から	費用がか かるから	面倒だか ら	興味がな いから	その他	無回答
カーテンやよしず等により日射を遮っている	59%	23%	5%	1%	1%	3%	3%	2%	4%
暖房や冷房の使用時間を減らしている	51%	37%	4%	1%	2%	1%	1%	3%	4%
できるだけ家族が同じ部屋で団らんし、冷暖房等を別々の部屋で使わないようにしている	48%	29%	9%	2%	1%	3%	1%	4%	5%
マイバッグを持参している	45%	33%	6%	1%	0%	6%	4%	1%	4%
炊飯器や電気ポットの保温機能を使わないようにしている	44%	23%	13%	5%	1%	6%	2%	4%	3%
暖房や冷房の設定温度を冬は20℃以下、夏は28℃以上にする	43%	32%	11%	4%	1%	1%	1%	7%	3%
冷蔵庫の管理を適切に行っている(開閉の回数を減らすなど)	35%	33%	16%	5%	0%	5%	2%	2%	3%
電化製品の待機電力を減らすようにしている	33%	36%	12%	5%	1%	7%	2%	1%	5%
家電製品を買うときは多少価格が高めでも省エネ率の高い製品を選んでいる	33%	30%	23%	1%	9%	0%	2%	2%	4%
自家用車の利用を控え、バス・電車・自転車を利用している	31%	30%	13%	2%	2%	10%	2%	6%	5%
自動車を利用するときはエコドライブを行っている	22%	24%	17%	2%	1%	4%	5%	14%	11%
テレビを見る時間を管理している(時間を決めて見る、時間を減らすなど)	20%	37%	19%	9%	0%	3%	2%	6%	4%
物・サービスの購入時に、CO2排出量の少ないものを意識して選択している	15%	27%	35%	3%	3%	3%	6%	2%	6%
普段からテレビや新聞などで地球温暖化に関する情報を得ようと心掛けている	14%	38%	21%	2%	0%	6%	11%	3%	6%
打ち水を行っている	12%	31%	14%	6%	2%	12%	8%	9%	8%
みどりのカーテンづくりに取り組んでいる	12%	15%	26%	2%	3%	15%	13%	7%	8%
環境家計簿を利用している	2%	2%	22%	4%	0%	28%	22%	12%	9%
地球温暖化に関する講演会や体験学習会に参加している	1%	5%	27%	1%	1%	22%	23%	13%	9%
植林、育樹など地域の緑化推進活動、里山保全活動に参加している	1%	4%	28%	1%	1%	17%	25%	14%	10%

【その他の記述】

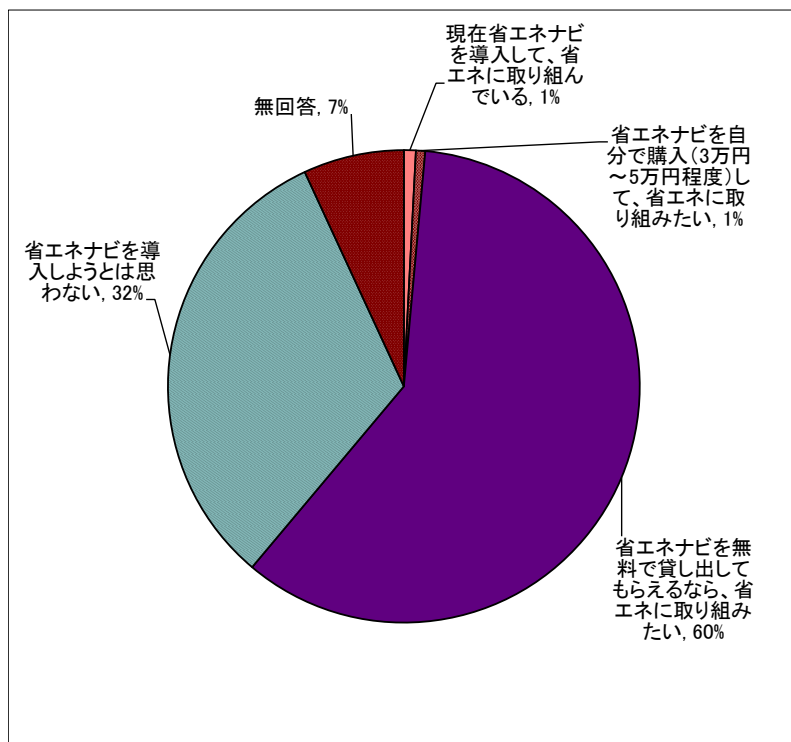
- ・ 冷暖房の使用制限は、病人・高齢者がいるため難しい。
- ・ 冷房は我慢出来るが、暖房は難しい。
- ・ 冷暖房の効果が無い。28度以上だと暑い。20度以下だと寒い。
- ・ 省エネ型のテレビ・冷蔵庫なので、特に使用制限はしていない。
- ・ 家族が集まって生活するのは、生活時間が違うため難しい。
- ・ 現在使用している家電製品がなかなか壊れないので、省エネ型の家電へ買い換える機会がない。
- ・ 省エネ型家電の選び方がわからない。
- ・ CO2 排出量というのは漠然としていてよくわからない。
- ・ 環境家計簿を知らない。
- ・ 足が不自由なため、車の使用制限は難しい。
- ・ 講演会や学習会が、どこで開かれているのかを知る機会がない。

問②. 省エネナビの導入状況及び意向として、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「省エネナビを無料で貸し出してもらえらるなら、省エネに取り組みたい」が60%であった。

図 5 省エネナビの導入状況及び意向

選択項目	件数	構成比
現在省エネナビを導入して、省エネに取り組んでいる	9	1%
省エネナビを自分で購入(3万円～5万円程度)して、省エネに取り組みたい	7	1%
省エネナビを無料で貸し出してもらえらるなら、省エネに取り組みたい	657	60%
省エネナビを導入しようとは思わない	352	32%
無回答	76	7%
計	1,101	100%

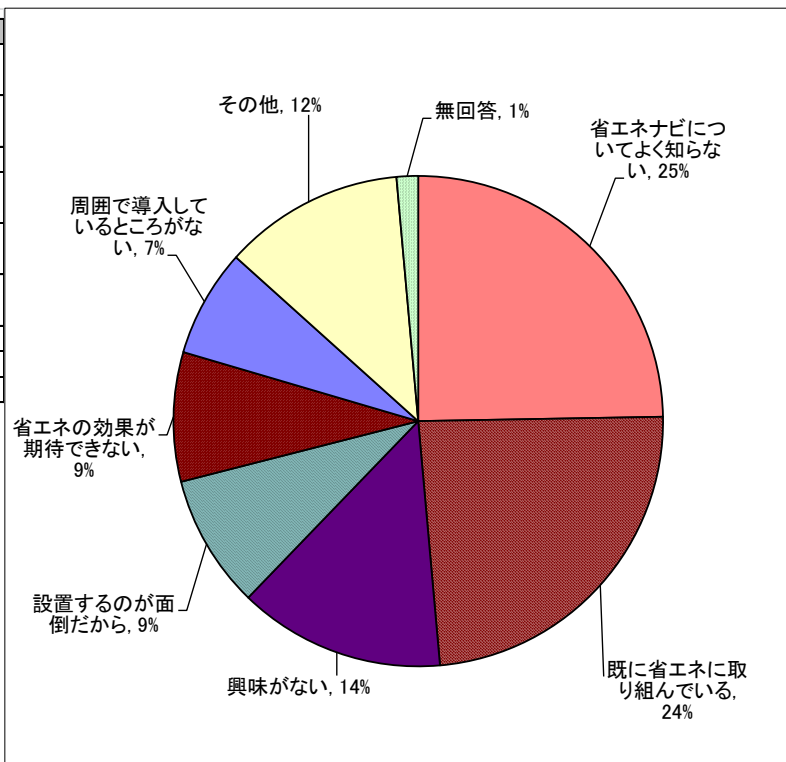


問③. <問②で「省エネナビを導入しようと思わない」を選択した場合>導入しようと思わない最大の理由は何ですか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「省エネナビについてよく知らない」が25%と最も多かった。

図 6 省エネナビの導入意向がない理由

選択項目	件数	構成比
省エネナビについてよく知らない	87	25%
既に省エネに取り組んでいる	84	24%
興味がない	48	14%
設置するのが面倒だから	31	9%
省エネの効果が期待できない	30	9%
周囲で導入しているところがない	25	7%
その他	42	12%
無回答	5	1%
計	352	100%



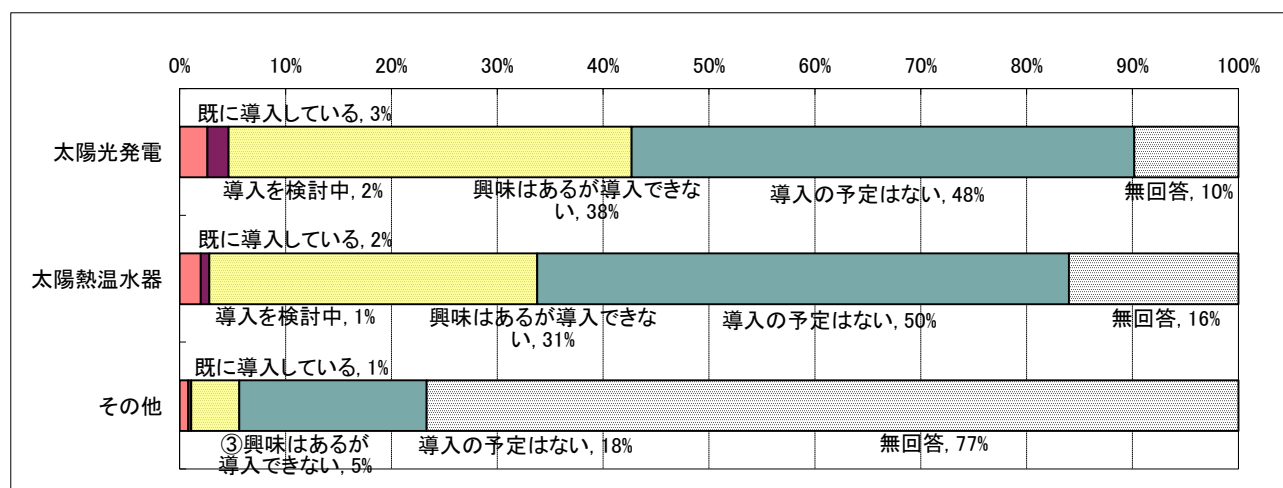
【その他の記述】

- ・ もともと使用量が少ないので必要ない。
- ・ 家族全員の意思疎通が必要。

問④. あなたのご家庭では、再生可能エネルギーを利用した機器・製品を導入されていますか。各設問のあてはまる数字に○を付け、既に導入している場合は、導入してからのおおよその年数を記入してください。

「太陽光発電」は3%で既に導入されており、2%で導入が検討されていた。「太陽熱温水器」は2%で既に導入されており、1%で導入が検討されていた。

図 7 再生可能エネルギーを利用した機器・製品の導入状況および導入意向



選択項目	既に導入している	導入を検討中	興味はあるが導入できない	導入の予定はない	無回答	計
太陽光発電	29 3%	22 2%	419 38%	523 48%	108 10%	1,101 100%
太陽熱温水器	22 2%	9 1%	341 31%	553 50%	176 16%	1,101 100%
その他	9 1%	3 0%	50 5%	195 18%	844 77%	1,101 100%

【導入してから年数（平均）】

- ・ 太陽光発電：5年
- ・ 太陽熱温水器：17年

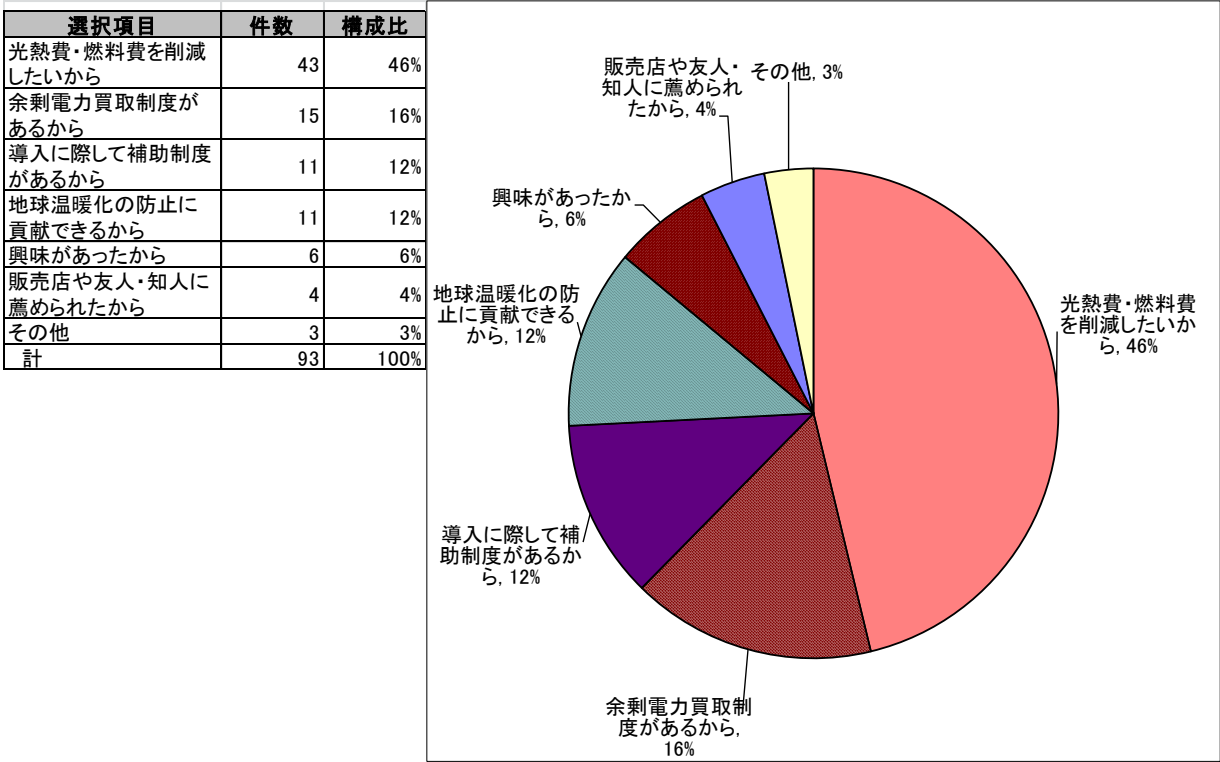
【その他の記述】

- ・ 風力発電
- ・ 太陽光蓄電スタンド
- ・ ソーラーウォッチ
- ・ ソーラーランプ
- ・ エコウィル [2]
- ・ エコキュート [2]

問⑤. <問④で1つでも「既に導入している」または「導入を検討中」を選択した場合>再生可能エネルギーを利用した機器・製品を導入された（または検討されている）最大の理由は何ですか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「光熱費を削減したいから」が46%と最も多かった。

図 8 再生可能エネルギーを利用した機器・製品を導入する理由



【その他の記述】

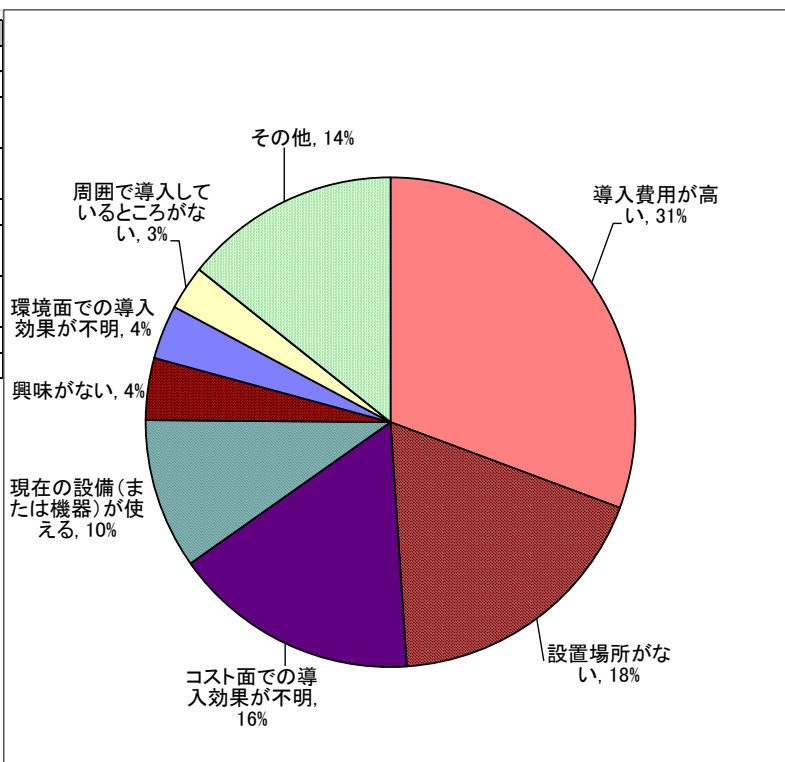
- ・ 災害時に備えるため。
- ・ ちょうど給湯器が壊れたから。

問⑥. <問④で「既に導入している」または「導入を検討中」を1つも選択していない場合>再生可能エネルギーを利用した機器・製品を導入できない（ご予定のない）最大の理由は何ですか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「導入費用が高い」が31%と最も多く、次いで「設置場所がない」が18%と多かった。

図 9 再生可能エネルギーを利用した機器・製品を導入しない理由

選択項目	件数	構成比
導入費用が高い	232	31%
設置場所がない	138	18%
コスト面での導入効果が不明	123	16%
現在の設備(または機器)が使える	75	10%
興味がない	31	4%
環境面での導入効果が不明	27	4%
周囲で導入しているところがない	22	3%
その他	108	14%
計	756	100%



【その他の記述】

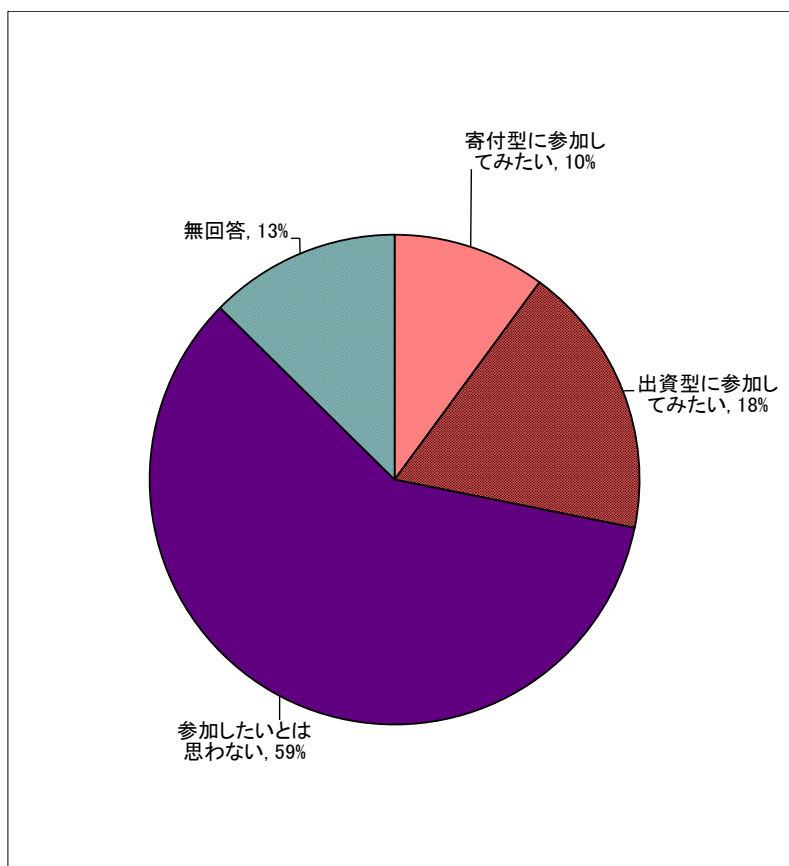
- ・ 集合住宅なので管理組合総会で承認が必要。
- ・ 高齢者夫婦のため、いずれ子供達がこの家を処分すると思うから。
- ・ 部屋や壁に設置するのなら煩わしい。いろんな設備もあり美観も悪い。

問⑦. 枚方市内で新たに、多くの人が共同で費用を出し合い太陽光パネルや風車などの再生可能エネルギーを導入しようとする取り組みが行われた場合、参加してみたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「寄付型に参加してみたい」が10%、「出資型に参加してみたい」が18%であった。

図 10 共同で費用を出し合う再生可能エネルギー導入の取り組みへの参加意向

選択項目	件数	構成比
寄付型に参加してみたい	111	10%
出資型に参加してみたい	199	18%
参加したいとは思わない	652	59%
無回答	139	13%
計	1,101	100%



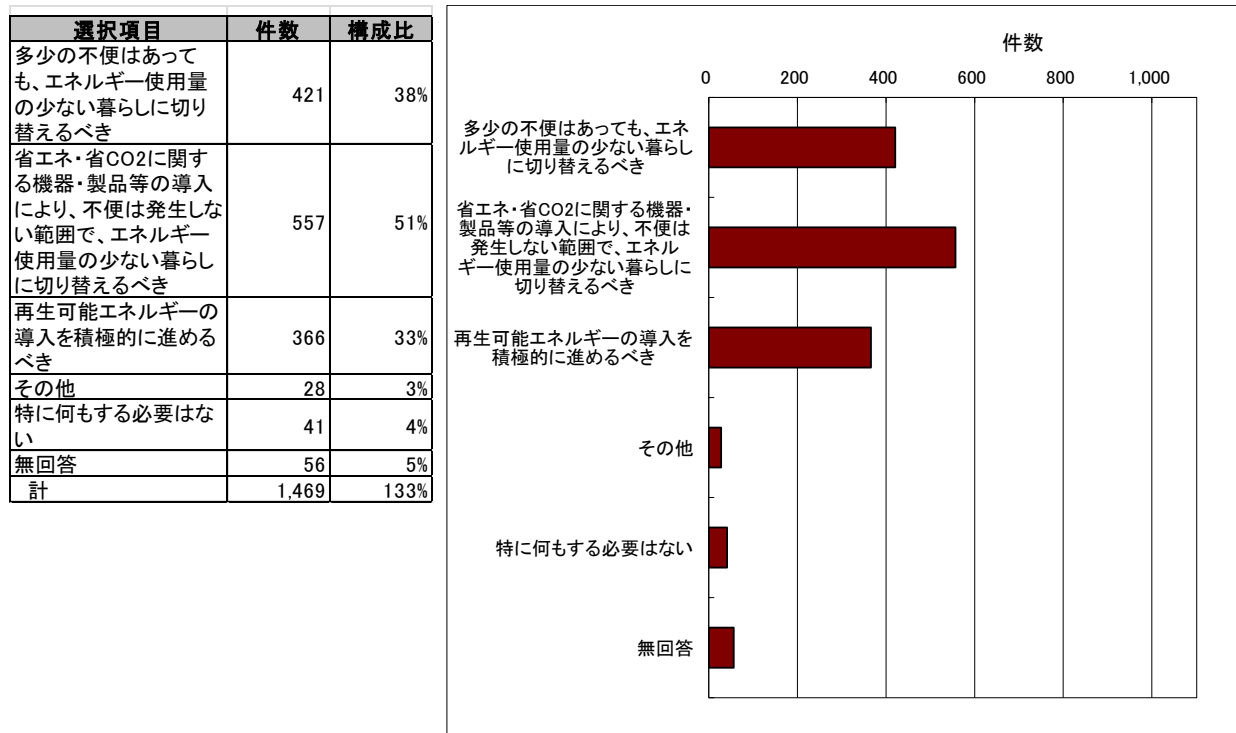
【出してもよい費用の額（平均）】

- ・ 寄付型の場合：90,000 円 （枚方市全体で推計すると、約 7 億円）
- ・ 出資型の場合：720,000 円 （枚方市全体で推計すると、約 100 億円）

問⑧. 地球温暖化防止に向けたエネルギー問題等に対し市民として何をすべきと考えますか。あてはまるものに○印をつけてください。(複数回答可)

「省エネ・省 CO2 に関する機器・製品等の導入により、不便は発生しない範囲で、エネルギー使用量の少ない暮らしに切り替えるべき」が 51%と最も多かった。

図 11 地球温暖化防止に向けたエネルギー問題に対し市民としてすべきこと



【その他の記述】

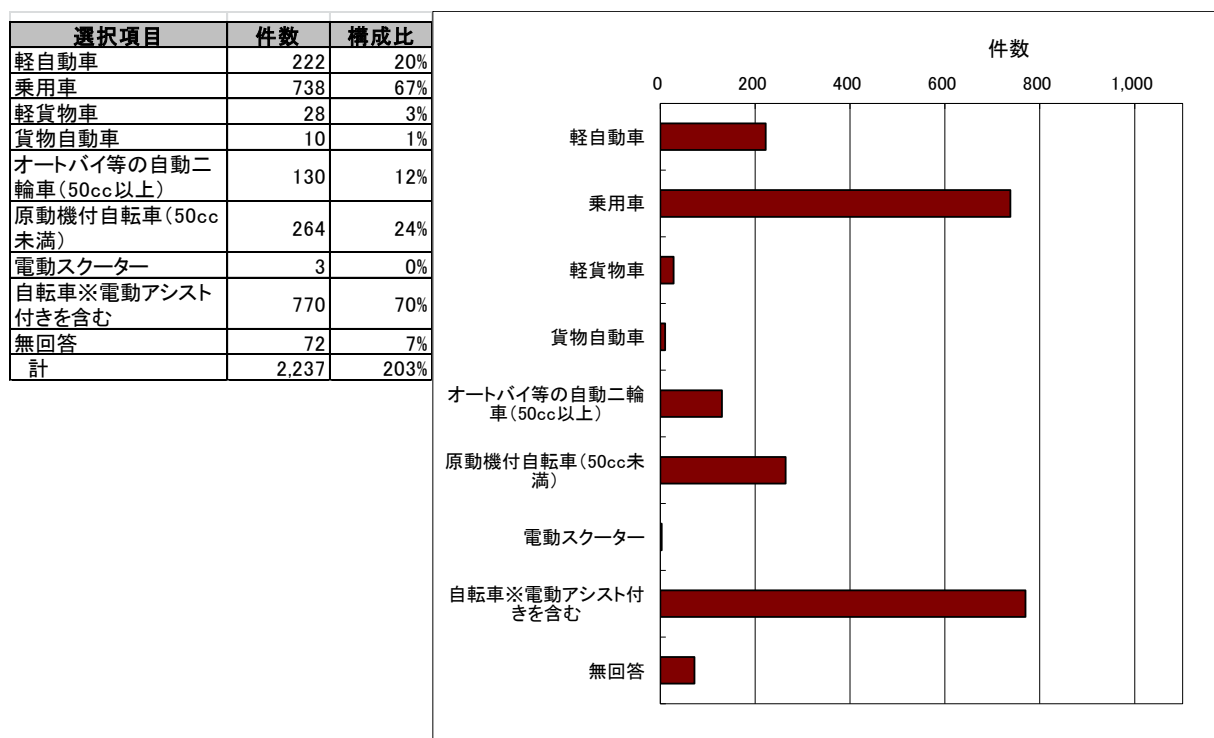
- ・ 気持ちはあっても、日々の生活で費用が捻出できない。
- ・ やるなら、強制的にするほうがよいのではないかな。

C. 交通手段に関する取り組みについて

問①. ご家庭での乗り物の保有状況についておたずねします。あてはまるものに○印をつけ、台数を記入してください。(複数回答可)

「乗用車を保有している」が 67%、「自転車を保有している」が 70%であった。

図 12 自動車、バイク、自転車の保有の有無



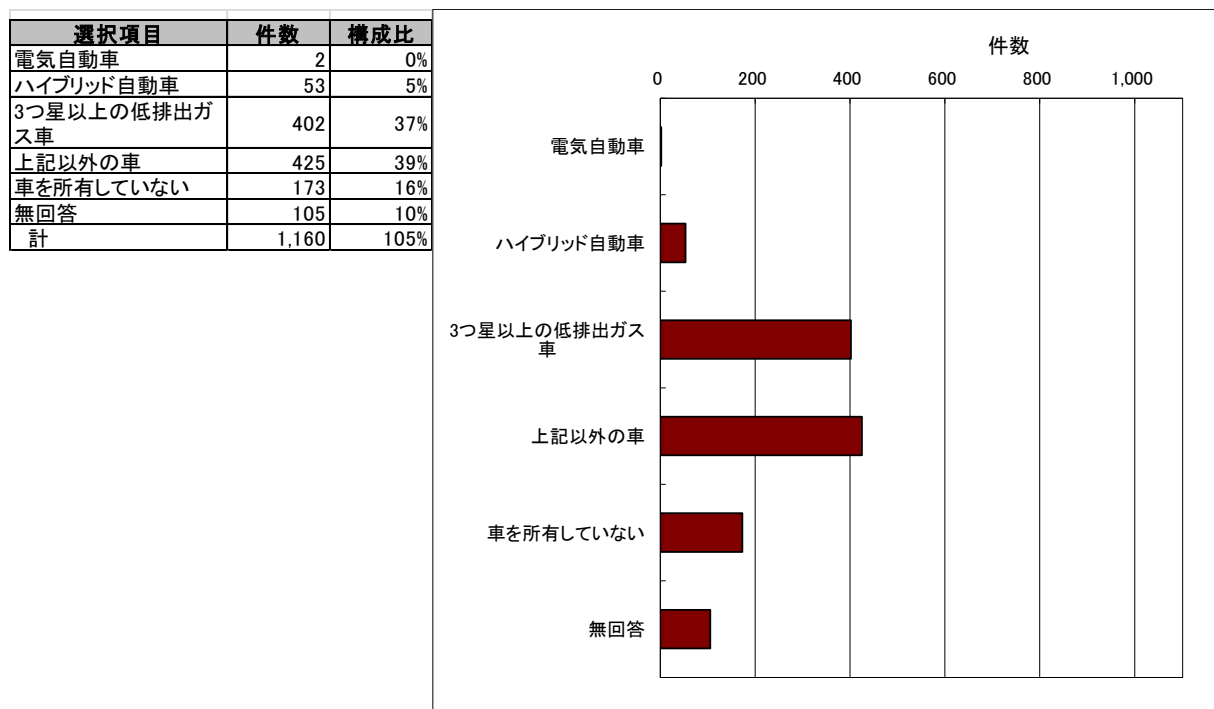
【保有している場合の平均保有台数】

- ・ 軽自動車：1.1 台
- ・ 乗用車：1.1 台
- ・ 軽貨物車：1.1 台
- ・ 貨物自動車：1.1 台
- ・ オートバイ等の自動二輪車（50cc 以上）：1.3 台
- ・ 原動機付自転車（50cc 未満）：1.2 台
- ・ 電動スクーター：1.3 台
- ・ 自転車※電動アシスト付きを含む：2.1 台

問②. ご家庭での自動車の保有状況についておたずねします。あてはまるものに○印をつけ、台数を記入してください。(複数回答可)

「3つ星以上の低排出ガス車」が37%、「ハイブリッド自動車」が5%であった。

図 13 電気自動車、ハイブリッド自動車、低排出ガス車の保有の有無



【保有している場合の平均保有台数】

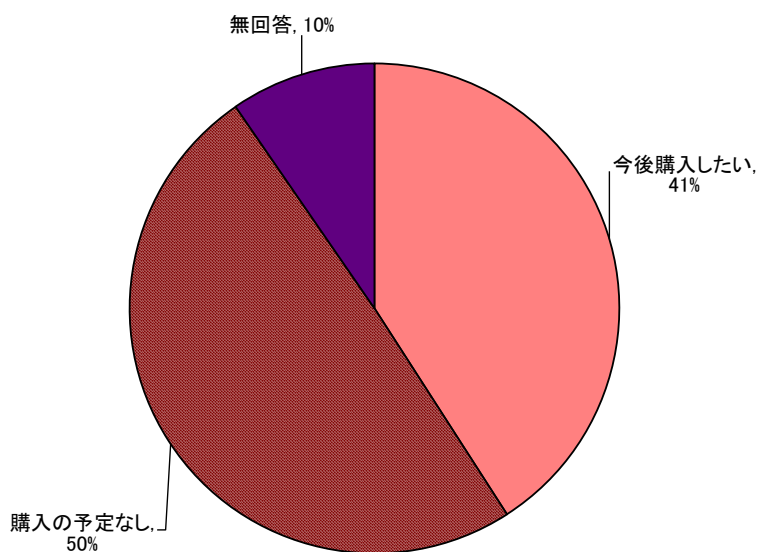
- ・ 電気自動車：1.0 台
- ・ ハイブリッド自動車：1.1 台
- ・ 3つ星以上の低排出ガス車：1.1 台
- ・ 上記以外の車：1.2 台

問③. <問②で「3 つ星以上の低排出ガス車」「上記以外の車」「車を所有していない」を選択した場合>電気自動車やハイブリッド自動車の購入の意向についておたずねします。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「今後購入したい」が 41%であった。

図 14 電気自動車やハイブリッド自動車の購入意向

選択項目	件数	構成比
今後購入したい	409	41%
購入の予定なし	495	50%
無回答	96	10%
計	1,000	100%



【購入の予定がない場合の理由】

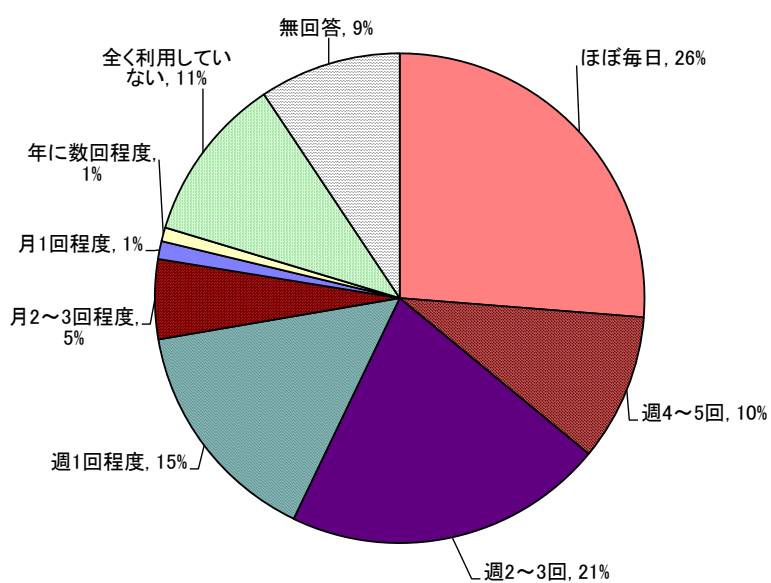
- ・ 高額であるため。
- ・ あまり使用しないため。
- ・ 今の車が気に入っているから。
- ・ 高年齢なので買い替え予定はない。
- ・ 現所有の車を使用可能な限り使用したいため。
- ・ 温暖化対策としての効果がよくわからないため。
- ・ マンションのため充電が自宅でできないため。
- ・ 電気自動車の充電施設が未だあまり無い。

問④. ご家庭でマイカーをどの程度利用されますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「ほぼ毎日」が26%と最も多く、次いで「週2～3回」が21%と多かった。

図 15 家庭でのマイカーの利用頻度

選択項目	件数	構成比
ほぼ毎日	289	26%
週4～5回	107	10%
週2～3回	233	21%
週1回程度	167	15%
月2～3回程度	58	5%
月1回程度	13	1%
年に数回程度	10	1%
全く利用していない	121	11%
無回答	103	9%
計	1,101	100%

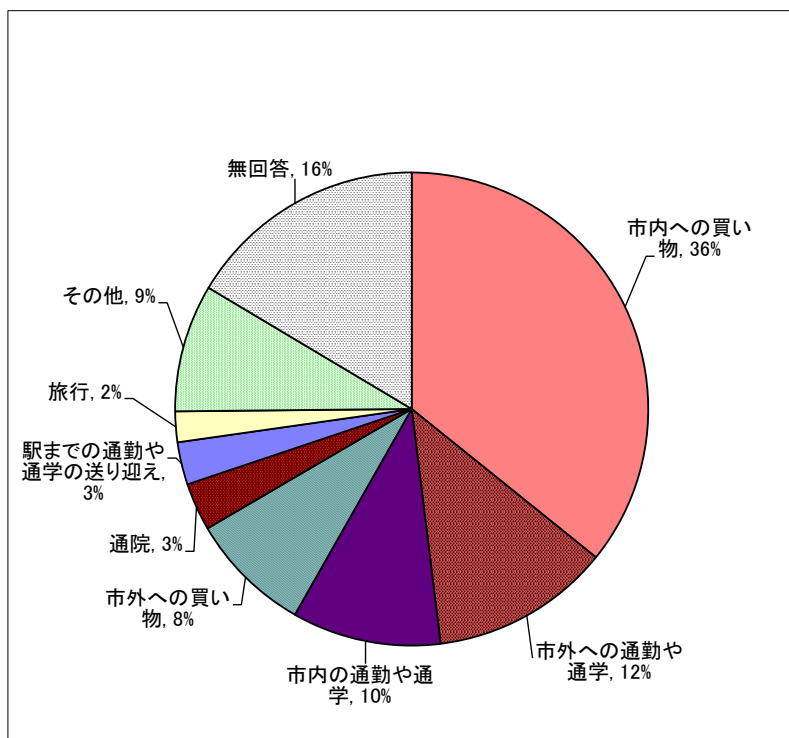


問⑤. ご家庭でマイカーをどのような目的で利用していますか。最も多いもの1つに○印をつけてください。

「市内への買い物」が36%と最も多く、次いで「市外への通勤や通学」が12%と多かった。

図 16 家庭でのマイカーの利用目的

選択項目	件数	構成比
市内への買い物	394	36%
市外への通勤や通学	135	12%
市内の通勤や通学	112	10%
市外への買い物	92	8%
通院	36	3%
駅までの通勤や通学の送り迎え	32	3%
旅行	23	2%
その他	96	9%
無回答	181	16%
計	1,101	100%



【その他の記述】

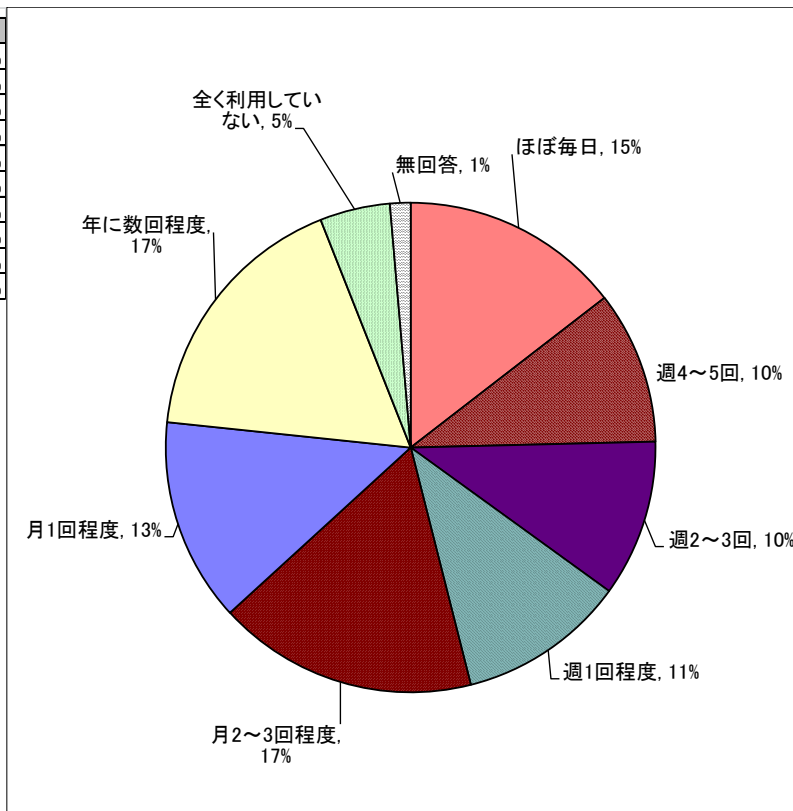
- ・ レジャー
- ・ 子供の習い事の送迎
- ・ 雨天時の移動手段
- ・ 実家への帰省

問⑥. あなたは公共交通機関をどの程度利用されますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

それぞれの利用頻度が大体同じ程度の割合であった。

図 17 公共交通機関の利用頻度

選択項目	件数	構成比
ほぼ毎日	160	15%
週4～5回	111	10%
週2～3回	114	10%
週1回程度	122	11%
月2～3回程度	189	17%
月1回程度	148	13%
年に数回程度	191	17%
全く利用していない	51	5%
無回答	15	1%
計	1,101	100%

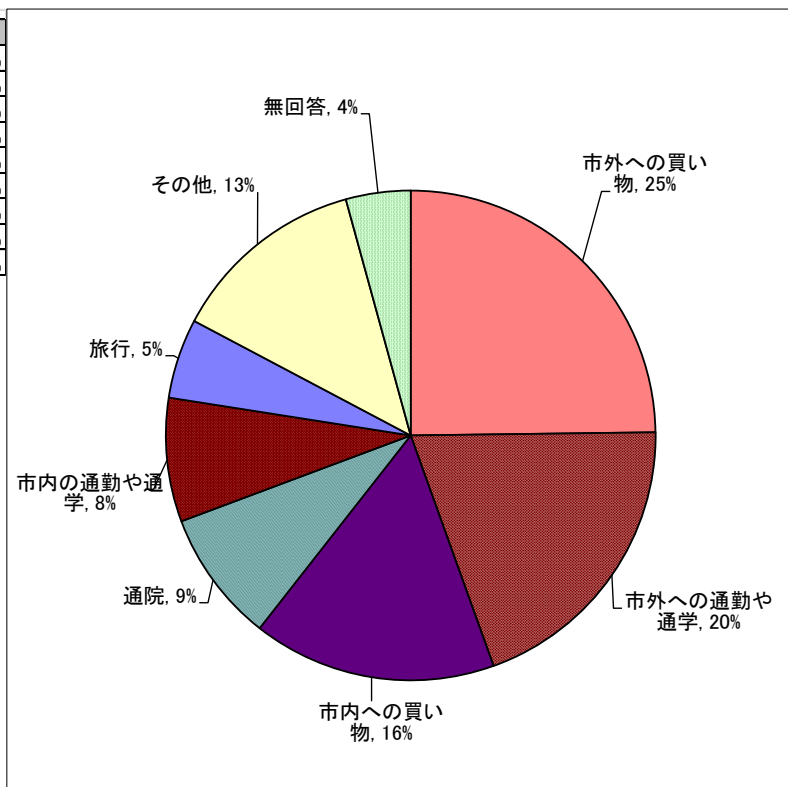


問⑦. あなたは公共交通機関をどのような目的で利用していますか。最も多いもの1つに○印をつけてください。

「市外への買い物」が25%と最も多く、次いで「市外への通勤や通学」が20%と多かった。

図 18 公共交通機関の利用目的

選択項目	件数	構成比
市外への買い物	273	25%
市外への通勤や通学	217	20%
市内への買い物	177	16%
通院	96	9%
市内の通勤や通学	90	8%
旅行	58	5%
その他	143	13%
無回答	47	4%
計	1,101	100%



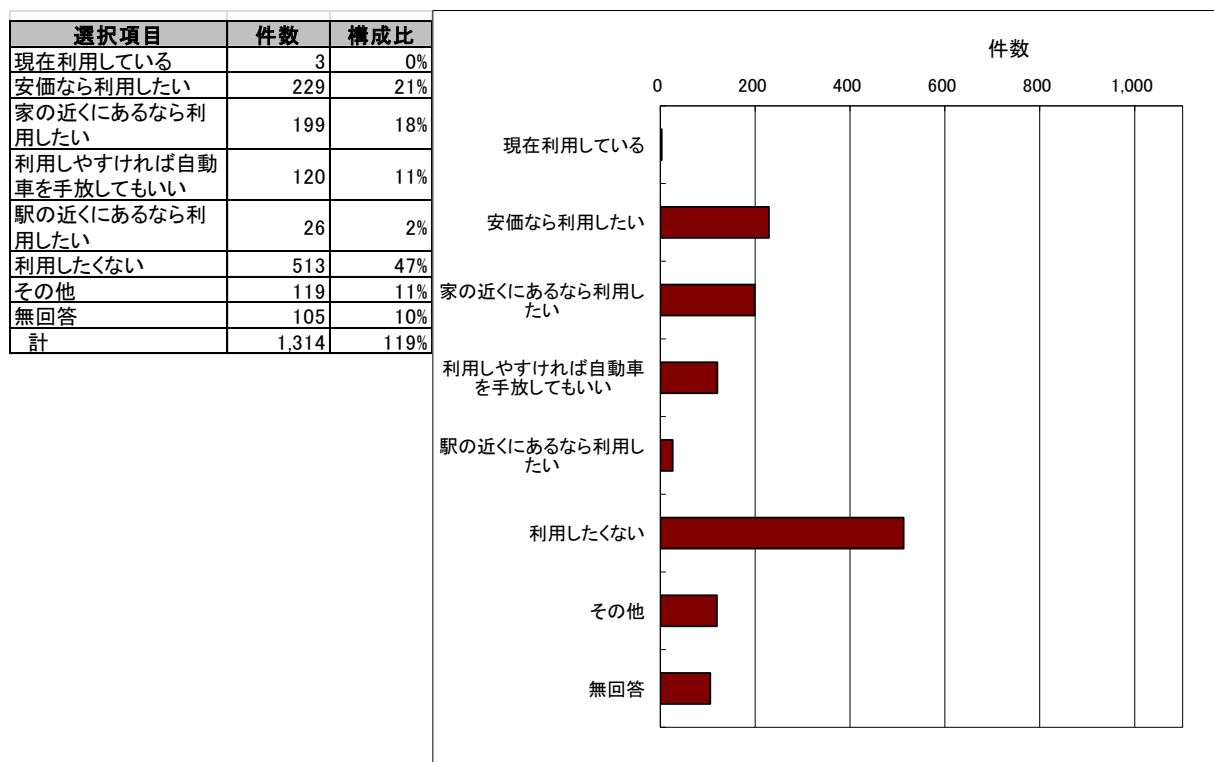
【その他の記述】

- ・ 市外への外出
- ・ レジャー
- ・ 飲み会
- ・ 習い事
- ・ 病院見舞い
- ・ 銀行や役所などに用事のある場合

問⑧. カーシェアリングの利用状況および意向についておたずねします。あてはまるものに○印をつけてください。（複数回答可）

利用したいという回答の中では、「安価なら利用したい」が 21%と最も多く、次いで「家の近くにあるなら利用したい」が 18%と多かった。

図 19 カーシェアリングの利用状況および意向



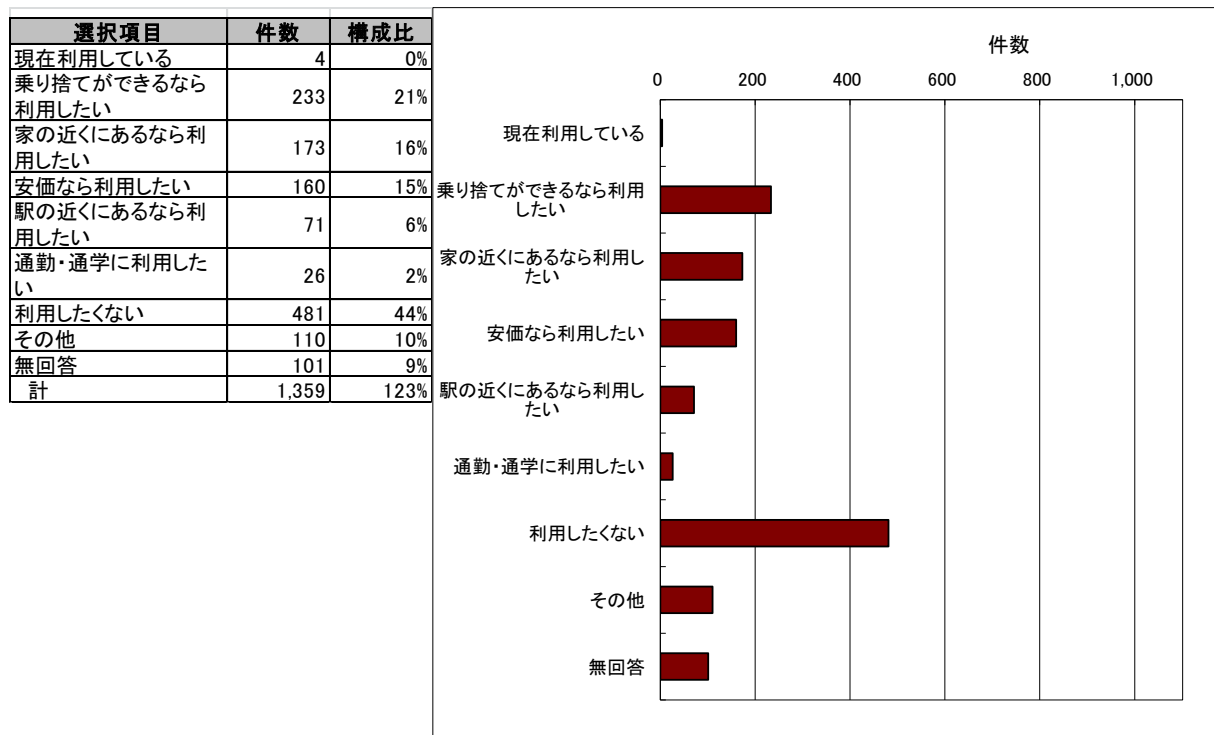
【その他の記述】

- ・ 利用したいときに即利用可能かどうかわからない。
- ・ 利用の仕方など詳しく知らない。
- ・ 利用したいがクレジットカード決済のため利用できない。
- ・ 毎日犬を数頭乗せるため、カーシェアリングは出来ないと思っている。
- ・ 運転技術がないので他の車だと不安である。
- ・ 高齢になったら保有せずシェアした方が良いと思う。

問⑨. レンタサイクルの利用状況および意向についておたずねします。あてはまるものに○印をつけてください。(複数回答可)

利用したいという回答の中では、「乗り捨てができるなら利用したい」が 21%と最も多く、次いで「家の近くにあるなら利用したい」が 16%と多かった。

図 20 レンタサイクルの利用状況および意向



【その他の記述】

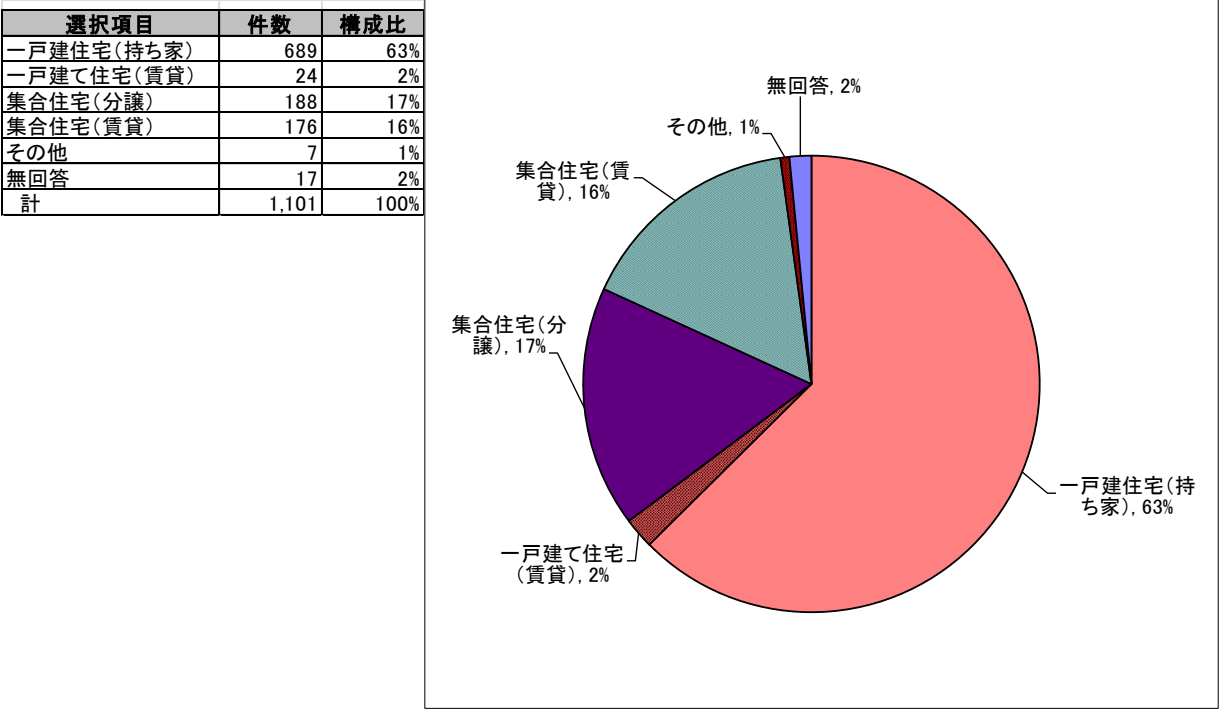
- ・ 利用したいが、坂が多くて利用しにくい。
- ・ 旅行先での観光のときには利用したい。
- ・ ほぼ毎日使用するので個人のものでよい。
- ・ 自分の自転車を持っているため必要ない。
- ・ 自転車を使用することが少ないので利用することは無いと思う。

D. 住居に関する取り組みについて

問①. お住まいの住宅の建て方、所有についておたずねします。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「一戸建て住宅（持ち家）」が63%と最も多かった。

図 21 住宅の建て方、所有について



【その他の記述】

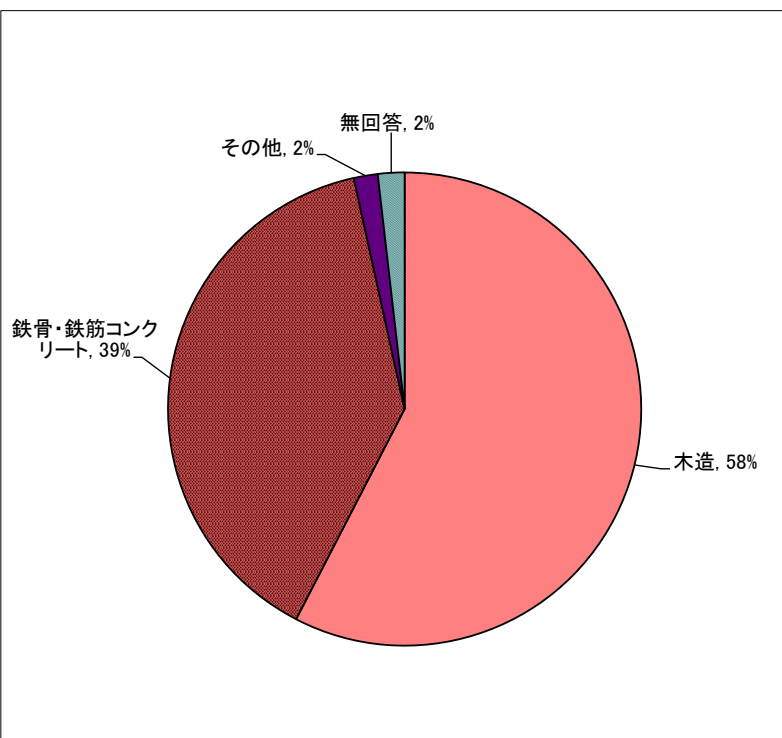
- 二戸建住宅の内の一戸（持ち家）

問②. お住まいの住宅の構造についておたずねします。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「木造」が58%と最も多かった。

図 22 住宅の構造について

選択項目	件数	構成比
木造	634	58%
鉄骨・鉄筋コンクリート	429	39%
その他	18	2%
無回答	20	2%
計	1,101	100%



【その他の記述】

- ・ 木造+鉄筋コンクリート
- ・ 軽量鉄骨（プレハブ）

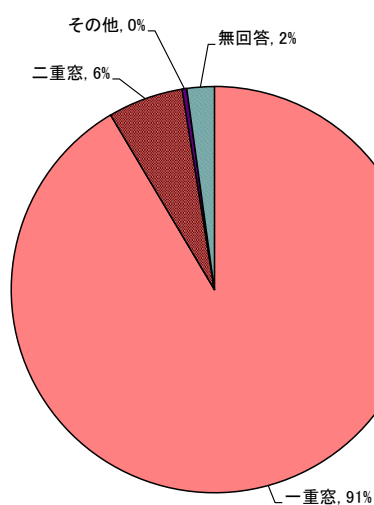
問③. 居間、茶の間など団らんの部屋の窓の種類と窓ガラスについておたずねします。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

(1) 窓の種類

「二重窓」は6%で導入されていた。

図 23 居間等団らんの部屋の窓の種類について

選択項目	件数	構成比
一重窓	1,007	91%
二重窓	66	6%
その他	4	0%
無回答	24	2%
計	1,101	100%

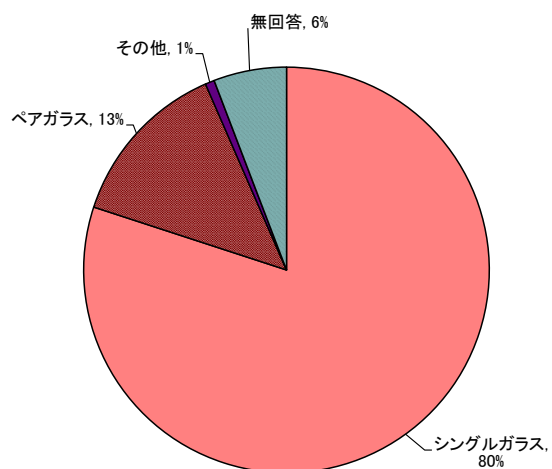


(2) 窓ガラス

「ペアガラス」は13%で導入されていた。

図 24 居間等団らんの部屋の窓ガラスについて

選択項目	件数	構成比
シングルガラス	881	80%
ペアガラス	148	13%
その他	8	1%
無回答	64	6%
計	1,101	100%

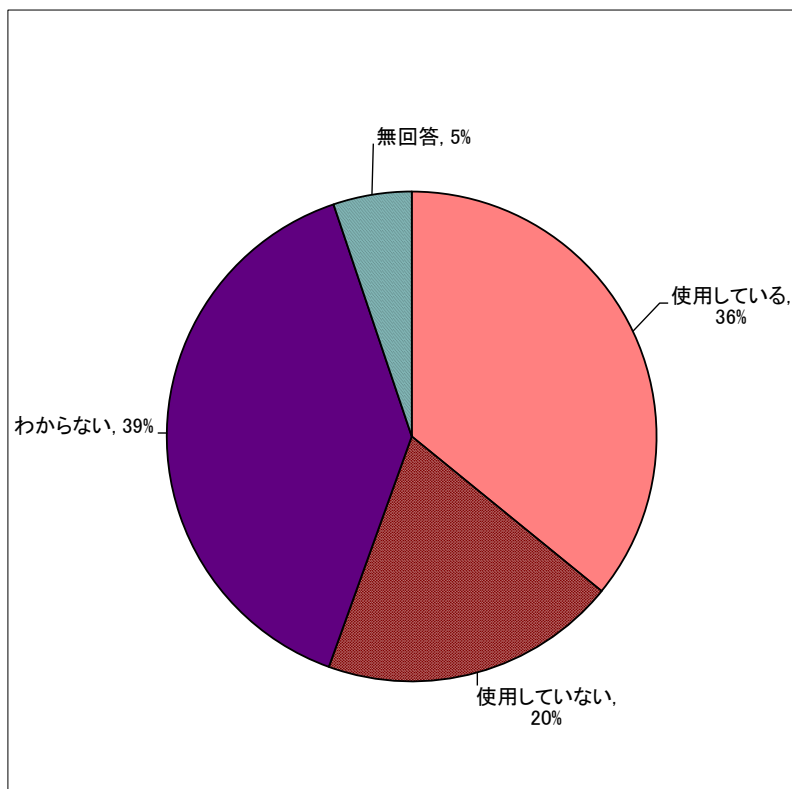


問④. 断熱材の使用についておたずねします。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「使用している」が36%であったが、最も多いのは「わからない」で39%であった。

図 25 断熱材について

選択項目	件数	構成比
使用している	395	36%
使用していない	216	20%
わからない	433	39%
無回答	57	5%
計	1,101	100%

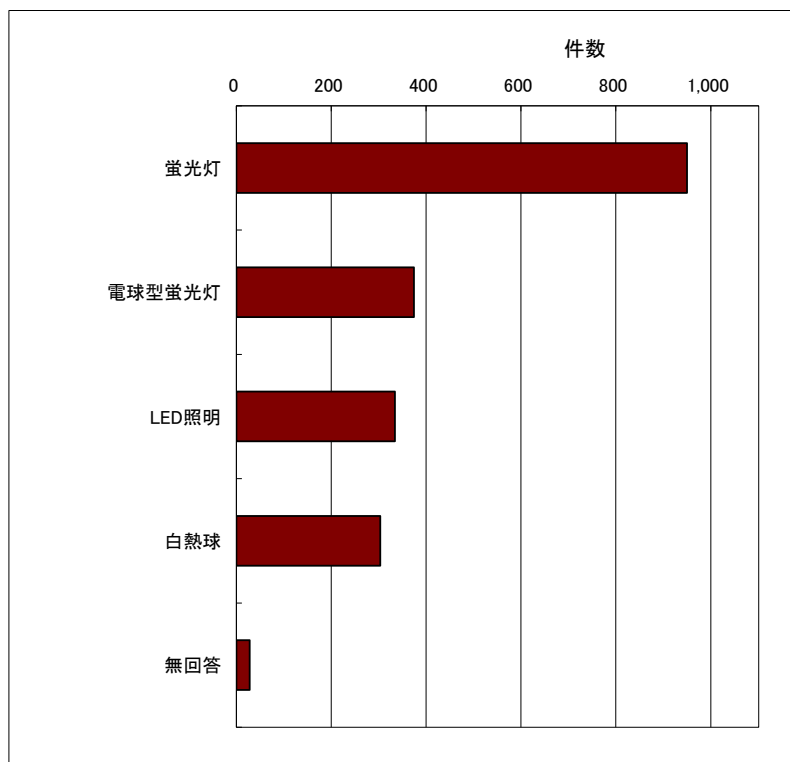


問⑤. 使用している照明器具について、あてはまるものに○印をつけてください。(複数回答可)

「電球型蛍光灯」が34%、「LED照明」が30%であった。

図 26 照明器具について

選択項目	件数	構成比
蛍光灯	950	86%
電球型蛍光灯	374	34%
LED照明	334	30%
白熱球	303	28%
無回答	28	3%
計	1,989	181%



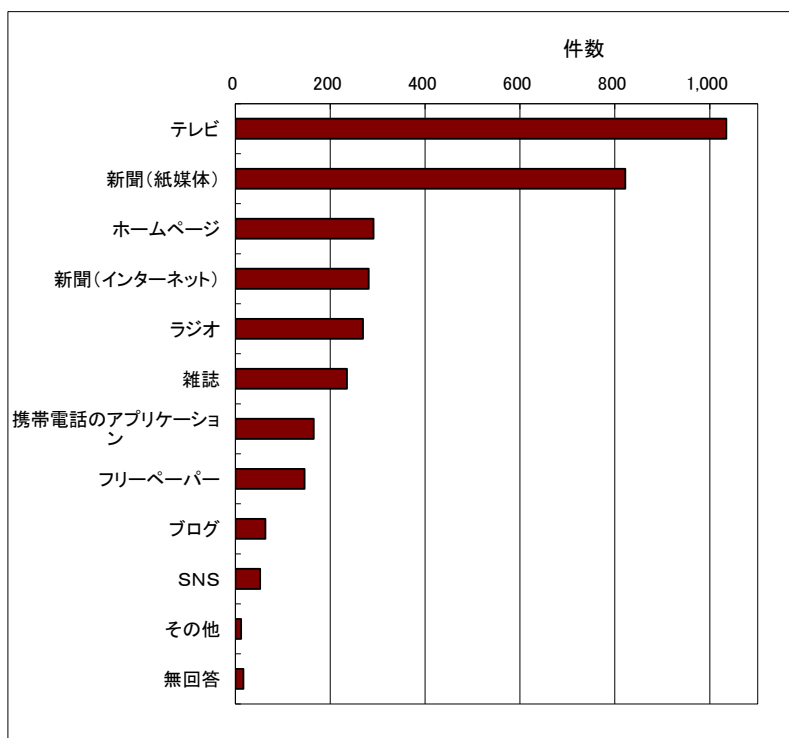
E. 情報伝達媒体の使用状況

問①. 普段利用する情報伝達媒体についておたずねします。普段どのような媒体を使って情報を得ていますか。あてはまるものに○印をつけてください。(複数回答可)

「テレビ」が94%と最も多く、次いで「新聞（紙媒体）」が75%と多かった。

図 27 普段利用する情報伝達媒体について

選択項目	件数	構成比
テレビ	1,035	94%
新聞(紙媒体)	822	75%
ホームページ	291	26%
新聞(インターネット)	281	26%
ラジオ	269	24%
雑誌	235	21%
携帯電話のアプリケーション	165	15%
フリーペーパー	146	13%
ブログ	63	6%
SNS	52	5%
その他	12	1%
無回答	17	2%
計	3,388	308%



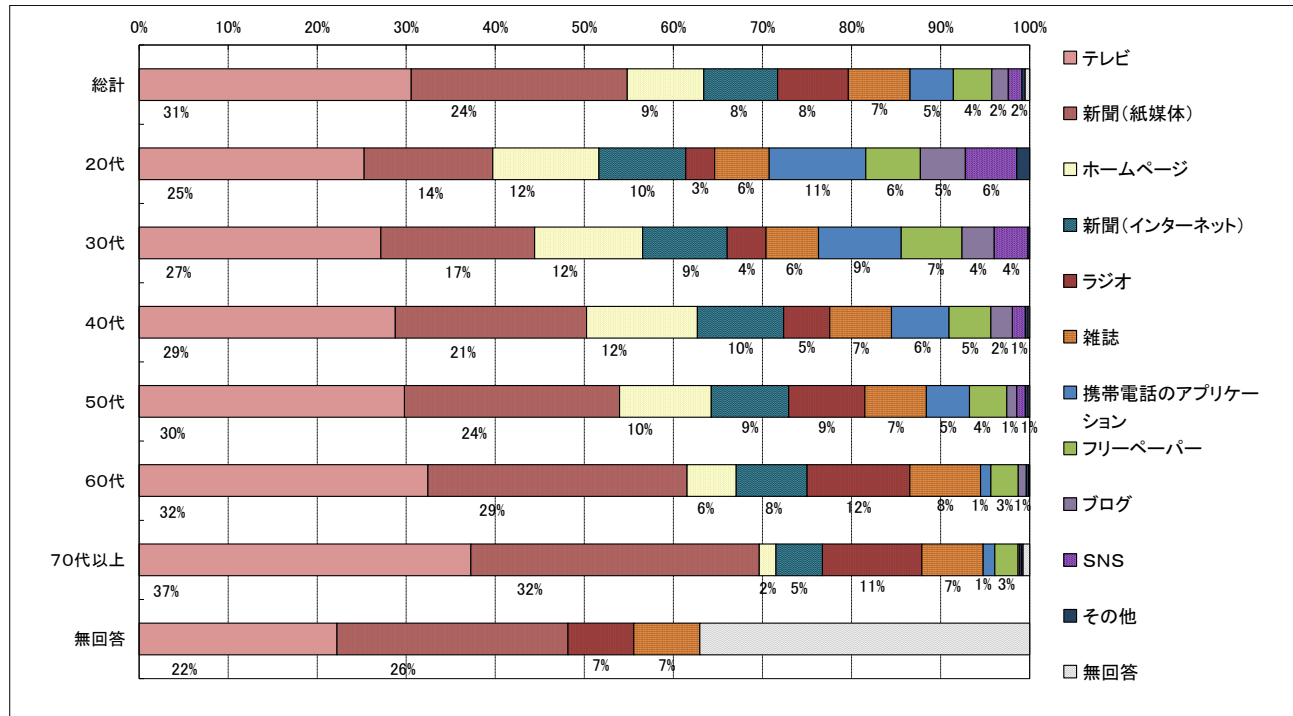
【その他の記述】

- ・ 高齢の人。田舎に住んでいる人。古いものを大事にする人。自然を大事にする人。
- ・ 友人、知人、親族からの情報。
- ・ ツイッター
- ・ 会社

(年代別、普段利用する情報伝達媒体について)

若い世代ほど、「ブログ」「SNS」「携帯電話のアプリケーション」の割合が大きい。「新聞（インターネット）」や「ホームページ」に関しては、ある程度年配の世代でも、若い世代とあまり差がない。

図 28 年代別、普段利用する情報伝達媒体について



選択項目	テレビ	新聞(紙媒体)	ホームページ	新聞(インターネット)	ラジオ	雑誌	携帯電話のアプリケーション	フリーペーパー	ブログ	SNS	その他	無回答	合計
総計	件数 1,035	822	291	281	269	235	165	146	63	52	12	17	3,388
	構成比 31%	24%	9%	8%	8%	7%	5%	4%	2%	2%	0%	1%	100%
20代	件数 70	40	33	27	9	17	30	17	14	16	4	0	277
	構成比 25%	14%	12%	10%	3%	6%	11%	6%	5%	6%	1%	0%	100%
30代	件数 143	91	64	50	23	31	49	36	19	20	1	0	527
	構成比 27%	17%	12%	9%	4%	6%	9%	7%	4%	4%	0%	0%	100%
40代	件数 178	133	77	60	32	43	40	29	15	9	2	1	619
	構成比 29%	21%	12%	10%	5%	7%	6%	5%	2%	1%	0%	0%	100%
50代	件数 185	150	64	54	53	43	30	26	7	6	2	1	621
	構成比 30%	24%	10%	9%	9%	7%	5%	4%	1%	1%	0%	0%	100%
60代	件数 253	227	43	62	90	62	9	24	7	0	2	1	780
	構成比 32%	29%	6%	8%	12%	8%	1%	3%	1%	0%	0%	0%	100%
70代以上	件数 200	174	10	28	60	37	7	14	1	1	1	4	537
	構成比 37%	32%	2%	5%	11%	7%	1%	3%	0%	0%	0%	1%	100%
無回答	件数 6	7	0	0	2	2	0	0	0	0	0	10	27
	構成比 22%	26%	0%	0%	7%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	37%	100%

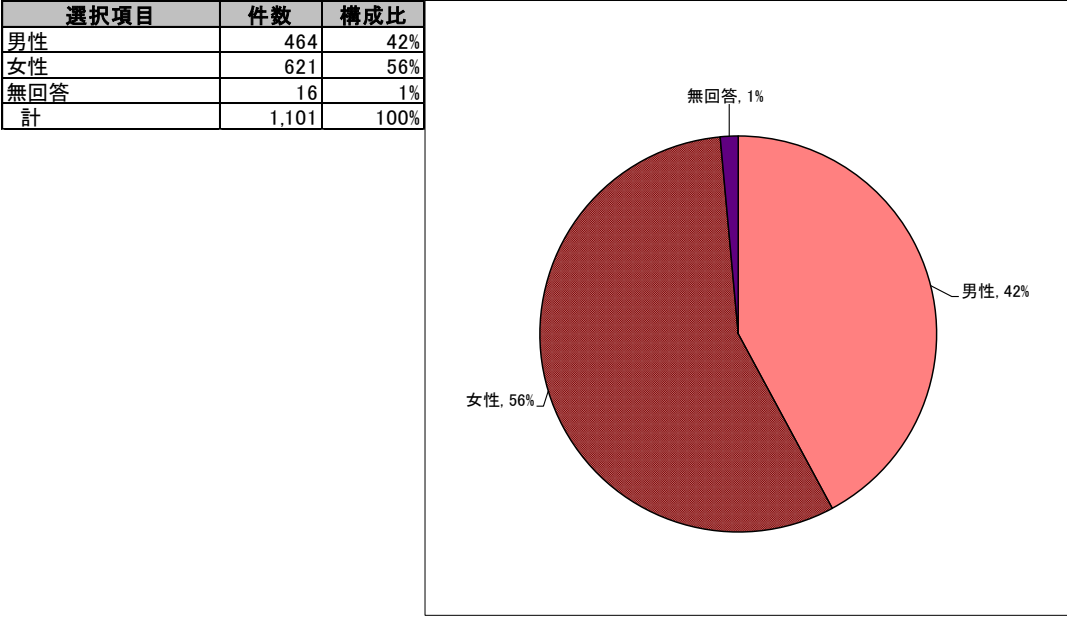
F. 回答者の属性に関する項目

問①. ご回答者様についておたずねします。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

(1) 性別

男性が 42%、女性が 56%であった。

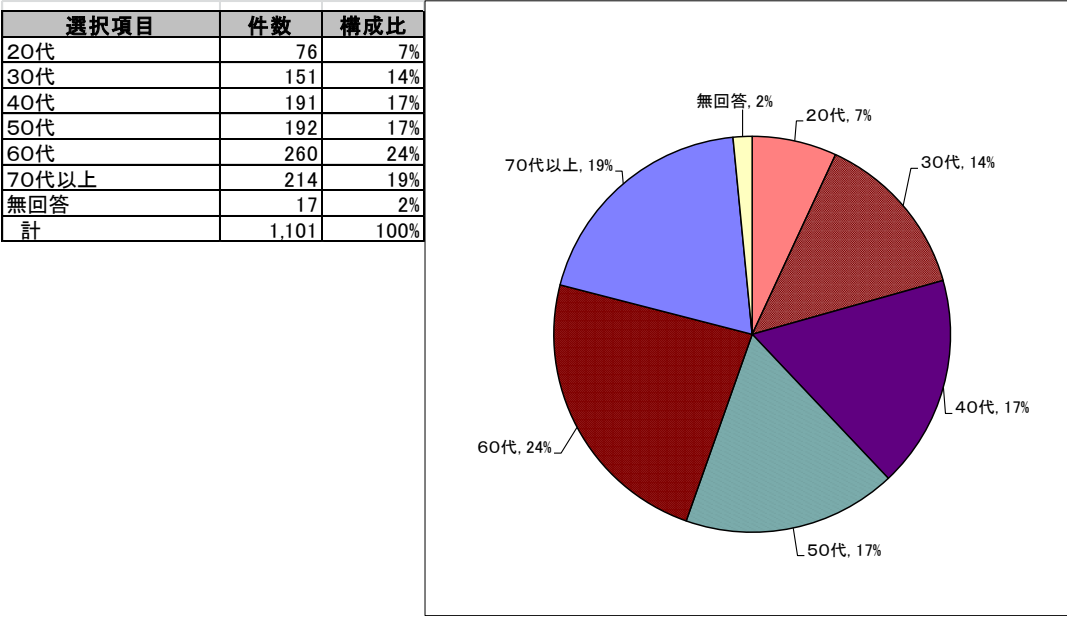
図 29 回答者の性別



(2) 年代

20代がやや少なく、60代がやや多かった。

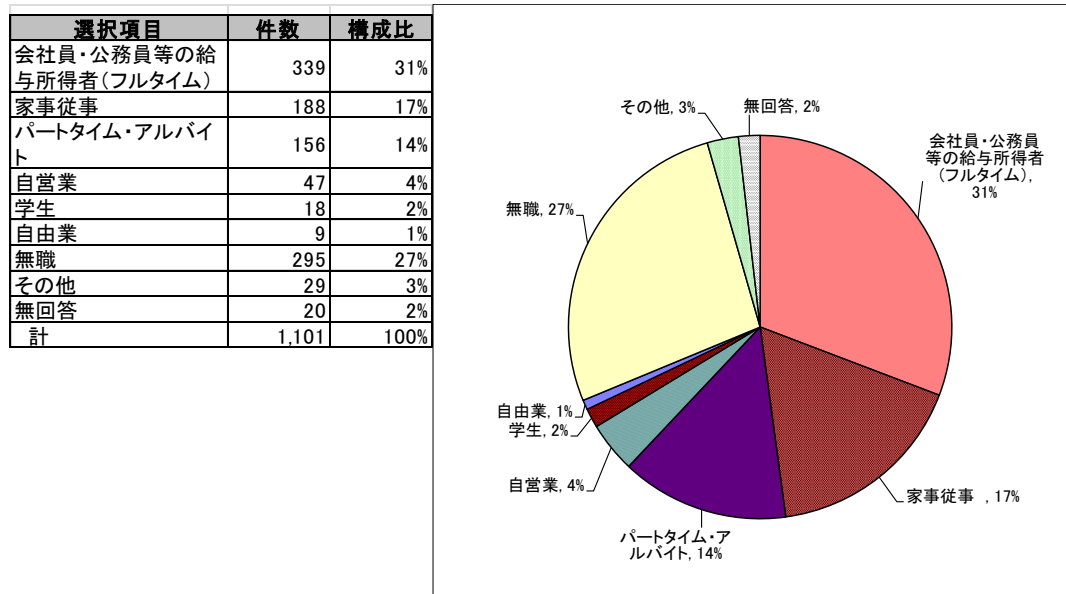
図 30 回答者の年代



(3) 職業

「会社員・公務員等の給与所得者（フルタイム）」が 31%と最も多く、次いで「無職」が 27%と多かった。

図 31 回答者の職業



問②. 現在、一緒にお住まいの方は、ご回答者を含めて何人ですか。

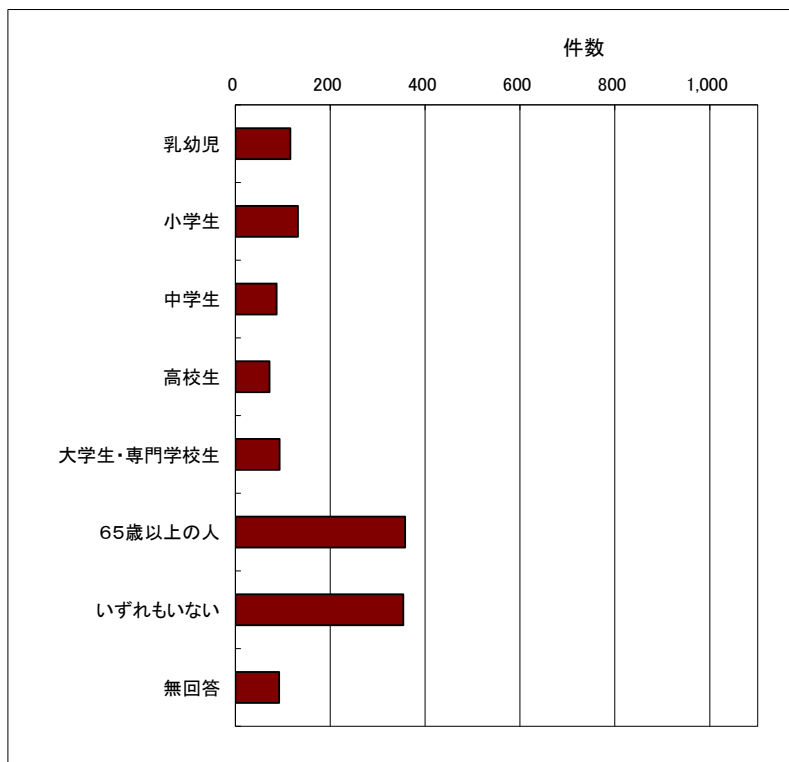
回答者の世帯における平均世帯人員は 3.0 人であり、統計上の平均世帯人員 2.49 人（2010 年度）よりも多かった。

問③. 一緒にお住まいの方に次にあげる方はいますか。あてはまるものに○印をつけてください。(複数回答可)

「65歳以上の人」が33%と最も多かった。

図 32 一緒に住んでいる方の属性について

選択項目	件数	構成比
乳幼児	116	11%
小学生	132	12%
中学生	87	8%
高校生	72	7%
大学生・専門学校生	93	8%
65歳以上の人	358	33%
いずれもない	354	32%
無回答	92	8%
計	1,304	118%



問④. ご家庭でのエネルギー使用状況について普段感じていること、環境問題や環境政策、市民活動などについて、どんなことでも構いませんのでご自由にお書きください。

■再生可能エネルギーに関すること

記述内容の要旨	主な回答	件数
再生可能エネルギーをもっと導入することが重要である。	・ 環境政策について将来への展開が大事だと思う。下水汚泥を発電燃料として、石炭の代替燃料として電力を作り、再資源化する事業に取り組むこと。小水力発電を取り入れる、太陽光発電を拡大する、電力を蓄電池にための小型システムを整備するなど、非常用電源をもつことで災害時のインフラ整備も必要になる。再生可能エネルギー整備は生活に必要で潜在需要もあると考える。自然エネルギー戦略に挑戦することこそが、新たな可能性を切り開き更なる飛躍につながる。 ・ 自然を利用して生み出されるエネルギーがもっと増えれば良いと思います。そのための寄付金を募っても理解してくれる人は多いと思います。 ・ 公共施設に太陽光発電をつけると良いと思います。企業に寄付を募ると良いかもしれません。学校に太陽光パネルをつけると教育効果もあり一石二鳥だと思います。 ・ 太陽光発電を設置してからは、晴れの日が続けばたくさん発電してくれるので嬉しいです。災害時で停電となってもお昼の晴の日は電気を使えます。大変心強いです。	12
再生可能エネルギーを導入するために正しい情報がほしい。	・ マンションでとても日当たりがよいので太陽光パネルの導入に賛成なのですがどれくらいの費用がかかるのか全然検討が付かず残念です。市で検討していただき、是非良い方法があるなら推進していただきたいと思います	5
再生可能エネルギーの導入に取り組みたいが経済的に難しい。	・ 環境を考えて太陽や風などの自然エネルギーを積極的に取り入れていきたいが、コストが高くなかなか手が出せないのが現状。どうコストを下げて、取り入れやすくしていくかが課題だと思います。	12
再生可能エネルギーの導入に取り組みたいが集合住宅なので難しい。	・ 集合住宅のため個々にできることは限られていて、ソーラーシステムなどは全体で取り組まなければならない、難しい。	2
東日本大震災を契機に、原子力発電に頼らないエネルギーについて考えるようになった。	・ 東日本大震災以降原発問題、エネルギー問題を考えるようになった。人間の力で制御出来ない原子力発電はやめるべきだと思う一方、これからのエネルギーについてどうすべきか、よくわからない。こども時代は不便な生活でも当たり前と思って暮らしていたが、今のように快適な生活を経験すると元に戻すことは難しい。しかし何か始めなければとも思っている。 ・ 東日本大震災で原子力に頼りすぎていたと痛感しました。乱暴かもしれませんがある程度は強制的にエネルギーの規制をしないと何もかわらないし、大変なことになると思います。一人一人の心がけも大切ですがそれだけでは地球温暖化対策を実現するのは難しいと思います。	19

■省エネルギーに関すること

記述内容の要旨	主な回答	件数
無駄をしない生活を習慣づけることが大事だと思う。	- 戦後のエネルギーの状態は今から思えば悪く、例えば停電はよく起こっていましたし、エネルギー源も今と違って熱効率の悪い木炭や練炭で暖を取っていました。エアコンはありませんでしたが、夏は団扇、葎簀、打ち水で暑さを凌ぎました。ですから、今の省エネも抵抗なく行うことが出来ます。我々より後世代の方々は前述のような経験はないですし、お金さえ払えばその便利さが得られる世界、これが多分普通と思っておられると思います。小学生の頃から省エネや環境問題についてしっかりしたカリキュラムを組んで頂きたい。地球温暖化＝全地球にいる生物の危機との認識が必要だと思います。 - 必要なとき必要な量だけ使用。使用しないときは電源を切る。便利さは追求しない。便利になればそれだけリスクも大きい。	43
環境に良いと思うことには取り組んでいきたい。	- 地球温暖化に関して、学者の方の説も諸説あるようで正確なところが理解できない面が多々ある。一個人、一家庭ができることは何があるか、どんなことがあるか、どんなことをすべきかよくわからないことがある。環境に良かれと自分なりに思うことはやるつもりです。 - 光熱費の伝票に前年同月の使用量が表示されており、家庭でのエネルギー使用状況を意識することができます。前年から家族が増えましたが、ほとんど前年と変わらない使用量を家族で見て「同じ無駄をずっとしているのか」「けっこうきっちりと節約出来ているのか」話題になります。小さな意識でしょうが、環境問題につながっていくように思えます。「～放し」をやめるだけでも、大きく違ってくると信じています。	12
省エネナビやエコライフつうしんぼ等を利用して、もっと省エネに取り組みたい。	- 私は自宅でどれくらいのエネルギーを使用しているか知りません。なので、どれだけエネルギーの使用量を抑えればよいのかわかりません。アンケートの項目にあった省エネナビはどれだけ電力を使っているか。また、目標使用量が数値で明確にわかるので使いすぎないようにしようという意識が高まると思います。是非導入していただきたいです。よく「こういう対策がよい」と書かれていたりしますが具体的にはどういう効果があり、どんなメリットがあるのかも説明されていると興味を引きやすいし、納得しながら取り組めると思います。また、長々とした文章などは若者の目は引かないと思うので絵で描かれているとわかりやすいかもしれません。（漫画風などが良いと思います。）このようなアンケートのおかげでますます環境問題に興味を持ちました。とても良い機会だったと思います。私たちの未来のためにもできることは少しずつ取り組んでいきたいとです。そして、皆で協力し合いながらより良い対策等を考えていきましょう！ - 毎年夏休みに小学生の子供がエコチェックの宿題を持ち帰り、実際家の電気や水道メーターから数値を出し、CO₂の量を出しているのを見ると、実際目で見て数値でCO₂の量を確認できるので、沢山のエネルギーを使い、沢山のCO₂を出しているのだなあ実感します。あと、子供4人でまだ2人は小さいので、子供がもう少し大きくなったら車の使用量を減らしていこうと思います。	7
省エネ型の家電に買い替えることが重要。	省エネ、省CO₂になる機器や製品を使用することがよいとは思いますが、感心はあります。一時的に金銭面などのことを考えるとなかなか手が出ないのが現実ですが、この先買い替えが必要になるものは、意識して省エネ型のものに替えていきたいと思っています。	5

■省エネルギーに関すること（つづき）

記述内容の要旨	主な回答	件数
省エネ型の家電に買い替えたいが経済的に難しい。	LED 電球、LED シーリングライトへの切り替えを早く行いたい が、LED シーリングライトは値段が今少し高い。	3
省エネの効果について、正しい情報がほしい。	省エネとしてエアコンの温度を調整することと、使用時間を減らす のではどちらが効率的か、ということや、エアコンとテレビのど ちらかを消した方が省エネになるのか等のエネルギー使用量の感 覚がつかめないことが多いです。	9
市役所など事業者ももっと節電に取り組むべきだと思う。	- 電力の不足が叫ばれている今、例えば市民ギャラリーの閉館時間を 早めるなど、市役所が取り組めることもあると思う。 - 節電と言われてしていることもあるが、まだまだ無駄が多いと思 う。節電として町のネオン規制や条例での制限を行っていても良 いのではないかな。	11
我慢をしてでも省エネに取り組むことが重要だと思う。	早く手を打つ必要は感じます。環境を変えて少しは不自由でもやっ ていく必要があることは感じます。みなでそういう意識をもてたら 少しは良くなると思いますが大変時間がかかり手遅れかもという 思いがあります。自分の子や孫にいい環境を残してあげたいと思 います。	4
可能な範囲で省エネに取り組みたいと思う。	エネルギー問題、環境問題などにあまりストイックに対応するの には疑問である。今の生活が多少不便になっても良いようなマイ ルドな対応を息長く幅広くじっくりと取り組む。持続可能な対応 を求めるのが正しい取り組みだと思う。	4
高齢者がいるなどの理由のため、省エネに取り組むことが難しい。	家では私 1 人が節電に気を配っている。年配者には難しいよう です。意識を高めるために高齢者にもわかりやすいセミナーがあ ればいいと思う。	19

■その他環境への取り組み等に関すること

記述内容の要旨	主な回答	件数
環境に関する取り組みについてもっと情報がほしい。	- 広報で色々な取り組みが紹介されていますが、全ての市民がきち んと読んでいるわけではありません。市民活動などは駅やバス、 電車の中など多数の方が目にする場所に掲示するなどの工夫をす れば、もっと多くの人に伝わると思います。生涯学習センターで も良い活動が多いのに、紹介する場所が限られているのが残念で す。また、他の自治体へも協力してもらってはいかがでしょうか。 枚方市民としての意識を持ち、コミュニケーションの多い市にな れば安心して暮らせます。 - 定年後在宅時間が増えるので、どうしても電気・ガスなど使用が 増える。市民活動があれば外に出る機会が増え、また色々考える 機会も増えると思う。	12
子どもや学生への環境教育が重要だと思う。	- 若い人の省エネ・環境意識は低いと思う。高校・大学でもっと教 育・啓発が必要だと思います。必須科目を設け、もっと関心を持 つようにすることが日本の危機を救う選択だと考えます。 - 小学校高学年ぐらいから平面的な教科書での学びより、体験によ る学び教育活動が必要ではないかと思う。大人になってからの意 識改革は難しいと思う。	4
公共交通機関の利用を増やすべきだと思う。	- 自家用車を減らし、バス、電車など公共機関をもっと利用すべき。 - バス路線では、例えば、総合体育館や山田池公園など市や府の施 設行きが充実してないので困った。行楽やイベントでも車でしか 行けないので駐車場に入れない車が溢れて困る。	3

■その他の回答

- ・ 再生可能エネルギーの導入に伴う、健康などへの悪影響が心配。
- ・ 再生可能エネルギーの導入が雇用につながればいいと思う。
- ・ ごみの分別に取り組んでいるが、リサイクルの実態を知りたい。
- ・ ごみを削減する取り組みが重要だと思う。
- ・ プラスチック製品を減らすことが大事だと思う。
- ・ 生ごみを出さないことが大事だと思う。
- ・ 宅地の造成に伴い、森林が減少することに不安を覚える。
- ・ 地球温暖化について、本当に起こるのか信用できない。
- ・ 温暖化という枠組みだけでなく、エネルギー問題の影響をわかりやすく伝えてほしい。